



▲文化交流セレモニーでは、トンガ王国関係者として出席したファカハウ・ヴァルさんから金子正一町長にサプライズが。ラグビートンガ王国代表のレプリカユニフォームがプレゼントされました



▲来場者には、トンガ王国国旗をモチーフにした赤いエコバッグをプレゼント。中には両国のコラボ食品「キャッサバカレー(仮)」

実現への一歩

文化交流セレモニー・スポーツ交流イベントを開催
11月7日、トンガ王国との「共生社会ホストタウン」を目指した取り組みのキックオフイベントの位置付けとして、文化交流セレモニーとスポーツ交流イベントが開催されました。

青空が広がった11月7日。トンガ王国と邑楽町の交流を祝うかのような晴天の中、邑の森ホールで「文化交流セレモニー」が開催されました。3人のトンガ王国関係者を迎え、交流の始まりを約300人が祝福しました。

互いの文化を披露
ドーンと胸に響く太鼓の音とともに始まったアトラクション。町の文化団体8団体が心に響かせる音色やトンガ王国国歌などを披露しました。それに応えるように、大迫力の雄たけびから始まったラグビートンガ王国代表演武「シピタウ」。披露したワテソニ・ナモアさんとファカハウ・ヴァルさんには惜しめない拍手が送られました。

交流の始まりを祝う
セレモニーの祝辞に立った金子正一町長は「ワテソニ・ナモアさんには、トンガ王国と邑楽町の橋渡しとしてお力添えをいただき感謝します。これを機に共生社会の実現に向けて、すべての人にやさしいまちづくりをより推進していきたい」と述べました。続いて神谷長平議会議長は「本年は日本とトンガ王国との外交関係樹立50

周年という記念すべき年。今後両国の関係がより緊密になることの一翼を担っていくことを望みます」と交流の始まりを祝いました。

スポーツを通じて親睦を
おうら中央多目的広場で行われたタグラグビー体験。ワテソニ・ナモアさんと一緒に笑顔でボールを追いかける子どもたちの姿がありました。さらに、保健センターで行われたのはポッチャ体験。ポッチャ選手として活躍する海保美宏さんをゲストに迎え、町スポーツ推進委員からルールを教わり、プレイを開始。子ども、障がいがある人、トンガ王国の人と、共生社会の一幕が会場にありました。



▲中央公民館ロビーにはトンガ王国ブースを開設。トンガ王国の紹介写真やラグビートンガ王国代表のユニフォームなどが展示されました

Twitterでフォローをした人にトートバッグをプレゼント中

「@Tonga_OraJapan」をフォローした人にオリジナルデザインのトートバッグをプレゼントしています。
▶場所 中央公民館
▶時間 午前9時～午後10時
※数量限定(先着順)
▶問合せ 中央公民館☎88-1177



スポーツ交流 (ポッチャ)



ポッチャはジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤・青それぞれ6球ずつのボールを、いかに近づけるかを競うスポーツ。パラリンピックの正式競技になっています

参加者の声 Voice



やっぱりスポーツって楽しい
いろいろな人と交流もできてよかった♪

関下静蘭さん (大谷端宿赤東・31区)



タグラグビーはすごく楽しくて、熱中しちゃいました。またやりたい!

三澤嵐さん (石打・20区)



ポッチャは初めてだったけど、ボールを投げるのが楽しかった。とても盛り上がったよ!

おうら青年学級の皆さん

邑楽町へのメッセージ Message

トンガ王国とのホストタウンへの取り組みに感謝します。多くの邑楽町民が歓迎してくれたことは、涙が出るほどうれいす。今回の取り組みは、トンガ王国との交流のファーストステップ。トンガ王国としてもこのチャンスを生かしたいです。これを機にぜひ交流を続けましょう。



トンガ王国関係者(左から)
ワテソニ・ナモアさん...前原(4区)在住。大東文化大学にラグビー留学し、日本に貢献。元三洋電機(現在のパナソニック)のラグビー部で活躍。現役引退後は、町のタグラグビー教室などで講師を務める。
ファカハウ・ヴァルさん...元トンガ王国ラグビー代表主将・監督として活躍し、トンガ王国の国民的英雄。ラグビーワールドカップ2019日本代表ヴァル・アサエリ愛選手の父
リオネティ・ヴァルさん...ファカハウ・ヴァルさんの妻



トンガ王国の国技「ラグビー」にちなみ、タグラグビー体験を開催。タックルに象徴される激しいぶつかり合いの代わりに、腰に付けたタグを取り合うプレーが特徴

スポーツ交流 (タグラグビー)